

ルーマニア月報

2024 年 4 月号

本月報はルーマニアの報道をもとに、
日本大使館がとりまとめたものです。

令和 6 年 5 月 10 日
在ルーマニア日本国大使館作成

主要ニュース

【内政】

- 4 月 22～23 日の深夜、PSD（社会民主党）及び PNL（国民自由党）はブカレスト市長選挙でクリストイウ・ブカレスト救急大学病院長を PSD-PNL 統一候補者として取り下げ。PSD からはフィレア前家族相・前ブカレスト市長、PNL からはブルドゥジャ・エネルギー相が出馬。世論調査ではダン・現ブカレスト市長が一歩リード。
- 4 月 26 日、検察官がイリエスク元大統領の自宅を訪問し、1990 年 6 月 13 日から 15 日にかけての炭鉱労働者抗争に関する事件に関して事情聴取を行った。同大統領は人道に対する罪に問われている。
- 4 月 29 日、中央選挙管理局（BEC）は欧州議会選挙の最終候補者名簿を発表。12 の政党と政党連合、4 名の無所属が出馬。

【経済】

- 4 月 4 日、直接投資信頼度指数の新興市場部門で、ルーマニアが海外直接投資（FDI）流入ランキングで 17 位。
- 4 月 12 日、国債格付会社 S&P 社は、ルーマニアの長期・短期外貨建て国債格付けを BBB-/A3 と再確認。4 月 16 日、IMF は、2023 年 10 月時点で 3.8%と予測していたルーマニアの 2024 年経済成長率を、2.8%に下方修正。
- 4 月 24 日、ヨハニス大統領の韓国訪問の際にルーマニア政府は韓国と原子力協力覚書を締結。

【外政】

- 4 月 3 日、ヨハニス大統領はミシェル欧州理事会議長、オルバン・ハンガリー首相、デ・クロー・ベルギー首相、プレンコビッチ・クロアチア首相と協議を行った。
- 4 月 6 日、ショルツ独首相が欧州社会党会議参加のためルーマニアを訪問。
- 4 月 11 日、第 9 回三海域イニシアティブ会合で、ヨハニス大統領はゼレンスキー・ウクライナ大統領と会談。
- 4 月 22～24 日、ヨハニス大統領は韓国を公式訪問。

【我が国との関係】

- 4 月 3～6 日、田中・高山市長他がシビウ市を訪問。
- 4 月 11 日、ルーマニアが参加する三海域イニシアティブは、第 9 回会合から日本を戦略的パートナーとして歓迎。
- 4 月 13 日、在ルーマニア日本国大使館はブカレスト・ヘラストラウ公園内日本庭園で花見を開催。
- 4 月 19～21 日、East European Comic Con が開催され、5 万人以上の来場者が新旧様々な日本文化を満喫。

内政

（１）社会民主党（PSD）と国民自由党（PNL）のブカレスト地方選挙を巡る協力・決裂

- 4月11日 PSD 及び PNL ブカレスト支部は6月9日の地方選挙に向けた協力協定に署名。これに先立ち、PSD 及び PNL は市議会議員選挙及び区長選挙でも共闘することを決定。
- しかし、4月22-23日の深夜、PSD 及び PNL は、クリストイウ・ブカレスト救急大学病院長をブカレスト市長選挙の PSD-PNL 統一候補者として取り下げた。それに従い、ブカレスト市長選挙、同市議会議員選挙は両党が別々の候補者名簿を提出することを決定。同市区長選挙、同市区議会議員選挙については統一候補者名簿を作成。
- ダン・ブカレスト市長（25日、無所属、右派統一連合支持）、フィレア前家族相・前ブカレスト市長（28日、PSD）、ブルドゥジャ・エネルギー相（27日、PNL）はそれぞれブカレスト市長選挙の立候補届を提出。なお、ブカレスト市選挙管理局は、提出書類に問題があるとしてショショアカ SOS 党首の立候補を受理しなかったが、その後、受理。

（２）イリエスク元大統領の起訴関連

- 4月26日、検察官がイリエスク元大統領の自宅を訪問し、1990年6月13日から15日にかけての炭鉱労働者抗争に関する事件に関して事情聴取を行った。同人の他、ロマン元首相とゲル・ヴォイカン元副大統領を含む1990年代の元政府高官数名が人道に対する罪を犯したとして起訴。
- 1990年4月22日から約2ヶ月、ブカレストの大学広場で行われていた反イリエスク政権デモ参加者のうち、同年6月13日、4人が射殺され、1300人が負傷し、1200人のデモ参加者が逮捕された件で、イリエスク元大統領は残忍な攻撃を組織した罪に問われている。デモ参加者を攻撃するために、警察やブカレストの労働者たちとともに数千人の鉱山労働者が連行された。
- 本裁判は、さまざまな司法上の理由で何十年も阻止されてきた。前回の2020年、高等裁判所は再捜査のため本件を軍事検察庁に差し戻した。

（３）ルーマニアにおける欧州議会選挙への立候補者

- 4月29日、中央選挙管理局（BEC）は6月9日に行われる欧州議会選挙の最終候補者名簿を発表。BECによると、欧州議会選挙には12の政党と政党連合、4名の無所属候補者が出馬。具体的には、PSD・PNL 連合、統一右派連合、社会主義ルーマニア、AUR（ルーマニア人統一同盟）、SOS ルーマニア党、右派代替党、社会自由ヒューマニスト党、REPER（ルーマニア欧州刷新プロジェクト党）、UDMR（ハンガリー人民民主同盟）、偉大なルーマニア党、愛国者党、統一ディアスポラ党が出馬し、無所属としてビルヴァネスク・パウラ＝マリネウ氏、ゲオルゲ・ヴラド＝ダン氏、シュテファヌータ・ニコラエ＝ボグダネル氏、ショショアカ・ドゥミトル＝シルヴェストル氏が出馬。

（４）世論調査

- INSCOP Researchによる世論調査（調査実施期間4月12-20日、対象者：1,100名、統計上の誤差は±2.95%）
 - 欧州議会選挙が実施された場合、どの政党に投票するか。
 - PSD-PNL 46.6%
 - AUR（ルーマニア人統一同盟） 16.6%
 - 統一右派連合 13.8%
 - UDMR（ハンガリー人民民主同盟） 5.1%
 - SOS 4.5%
- Avangardeによる世論調査（調査実施期間：4月24-27日、対象者：1,150名、統計上の誤差は±2.9%）
 - ブカレスト市長選挙には誰に投票するか。
 - ダン・ブカレスト市長（統一右派連合） 31%
 - フィレア前家族相(PSD) 24%
 - ポベスク＝ピエドネ・ブカレスト第5区長（PUSL：社会自由ヒューマニスト党） 20%

ブルドウジャ・エネルギー相 (PNL) 15%

エナケ氏 (AUR) 7%

➤ ブカレスト市議会選挙にはどの政党に投票するか。

PSD 31%

統一右派連合 25%

PNL 20%

PUSL (社会自由ヒューマニスト党) 10%

AUR 9%

● Sociopol による世論調査 (調査実施期間: 4月24-26日)

➤ ブカレスト市長選挙には誰に投票するか。

ダン・ブカレスト市長 (統一右派連合) 37%

ポベスク=ピエドネ・ブカレスト第5区長 (PUSL) 22%

フィレア前家族相(PSD) 22%

ブルドウジャ・エネルギー相(PNL) 11%

エナケ氏 (AUR) 7%

経済

(1) 主要経済統計とりまとめ (国家統計局、財務省、ルーマニア中央銀行 発表とりまとめ)

● 国家統計局 (INS)

	2023/10	2023/11	2023/12	2024/1	2024/2	2024/3
貿易収支 (億€)	-231.934	-255.553	-289.471	-19.584	-41.420	N.A.
前年同期比 (%)	-18.4	-17.6	-15.1	-15.5	-5.2	N.A.
消費者物価指数 (%)	8.07	6.72	6.61	7.41	7.23	6.61
失業率 (%)	5.4	5.4	5.4	5.7	5.6	5.3
平均グロス給与 (€)	1,510	1,562	1,670	1,604	1,607	N.A.
平均ネット給与 (€)	944	958	1,021	977	981	N.A.

● 財務省 (MF)

	2023/10	2023/11	2023/12	2024/1	2024/2	2024/3
財政収支 (億 lei)	628.136	735.48	899.24	78.918	289.873	358.790
GDP 比 (%)	-3.97	-4.64	-5.68	-0.45	-1.67	-2.06

● ルーマニア中央銀行 (BNR)

	2023/10	2023/11	2023/12	2024/1	2024/2	2024/3
政策金利 (%)	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
外貨準備高 (億€)	581.86	588.94	597.7	614.16	631.28	642.79
経常収支 (億€)	-183.4	-202	-226.94	N.A.	N.A.	N.A.
前年同期 (億€)	-229.71	-243.31	-260.4	N.A.	N.A.	N.A.
前年同期比 (%)	-20.16	-16.97	-12.84	N.A.	N.A.	N.A.
FDI (億€)	61.48	63.13	65.87	N.A.	N.A.	N.A.
前年同期 (億€)	95.29	95.47	100.39	N.A.	N.A.	N.A.
前年同期比 (%)	-35.48	-33.87	-34.38	N.A.	N.A.	N.A.
中長期対外債務 (億€)	1156.27	1169.65	1211.62	N.A.	N.A.	N.A.
前年末比 (%)	+17.2	+18.6	+22.8	N.A.	N.A.	N.A.
短期対外債務 (億€)	468.07	470.14	476.50	N.A.	N.A.	N.A.
前年末比 (%)	+3.4	+3.9	+5.3	N.A.	N.A.	N.A.

● 消費者物価指数（国家統計局（INS）・ユーロスタット）

	2023/10	2023/11	2023/12	2024/1	2024/2	2024/3
消費者物価指数(%)	8.07	6.72	6.61	7.41	7.23	6.61
食料品価格(%)	8.66	6.84	5.82	5.64	4.48	2.81
非食料品価格(%)	6.24	5.08	5.51	7.36	7.82	8.06
サービス価格(%)	12.20	11.18	11.21	10.91	11.00	10.20
ユーロ圏平均	2.9	2.4	2.9	2.8	2.6	2.4
EU27 カ国平均	3.6	3.1	3.4	3.1	2.8	2.6

● 業種別（前年同期比）（国家統計局（INS）・ユーロスタット）

	2023/10	2023/11	2023/12	2024/1	2024/2	2024/3
鉱工業						
工業生産高(%)	-4.9	-4.4	-3.3	-3.9	-2.2	N.A.
工業売上高(名目)(%)	3.1	0.4	-4.0	1.9	8.2	N.A.
工業製品物価指数(%)	-2.2	-2.6	-3.4	-6.0	-6.3	-7.9
新規工業受注高(名目)(%)	7.7	-0.2	-1.0	3.5	6.4	N.A.
小売業						
小売業売上高(除:自動車・バイク)(%)	1.4	3.3	1.5	5.1	7.1	4.3
自動車・バイク売上高(%)	8.0	6.4	11.3	0.5	2.7	N.A.
小売業売上高 ユーロ圏平均(%)	-1.2	-1.1	-0.8	-1.0	-0.7	0.7
小売業売上高 EU 平均(%)	-0.9	-1.0	-0.7	-0.6	-0.2	2.0
建設業						
工事(%)	7.6	12.7	25.5	-15.0	-5.9	N.A.

(2) 主要経済関連

● ルーマニア 直接投資信頼度指数の新興市場部門で 17 位

- 4 月 4 日、経営コンサルティングのカーニー社は、直接投資信頼度指数の新興市場部門で、ルーマニアが海外直接投資（FDI）流入ランキングで 17 位となった旨を発表した。ルーマニアは世界ランキングでは海外直接投資流入額上位 25 カ国には入っていないものの、名目 GDP では EU 第 10 位の経済大国であることなどから、新興市場の中での評価を得ている。（新興市場部門の上位は中国、UAE、サウジアラビア、インド、ブラジル。欧州諸国はポーランド（7 位）、トルコ（16 位）、ハンガリー（22 位）。）

● 2024 年 1～2 月の外国籍による投資は前年同期比 8.62%減

- 4 月 12 日、ルーマニア国立銀行は、2024 年 1～2 月の海外からのルーマニア国内での投資総額が 8.62%減の 12.29 億ユーロだった旨を発表した。また、同時期にルーマニア国内で新規設立された外資系企業は、前年同期比 8.3%減の 1,084 社だった。

● 国債格付会社 S&P 社によるルーマニアの格付け

- 4 月 12 日、国債格付会社 S&P 社は、ルーマニアの長期・短期外貨建て国債格付けを BBB-/A3 と再確認し、見通しも安定的である旨を発表した。S&P 社によれば、今回の評価は、ルーマニアの対外債務が多くなく、今後 2 年間の堅実な成長が見込まれること、また、EU の復興・強靱メカニズム（RRM）の実施によって、ルーマニアが改革を継続することによるもの。ボロシュ財務相は、今回の S&P の評価は、ルーマニアの 2025～27 年にかけての年平均約 3.6%という経済成長予測を裏付けるものであり、対外債務を責任ある方法で管理し、また、ルーマニアの構造改革を継続的に実施してきたことを評価するものである旨述べ、これはルーマニアが前向きな発展の道を歩み続けているという投資家への信頼のシグナルでもある旨述べた。

- **IMF ルーマニアの 2024 年経済成長予測を下方修正**

- 4月16日、IMFは、2023年10月時点に3.8%と予測していたルーマニアの2024年経済成長率を、2.8%に下方修正した。2025年の経済成長は3.6%と予測している。インフレ率は、2023年は10.4%、2024年は6%、2025年は4%と予測。失業率、2024年は5.6%、2025年は5.4%と予測。

(3) エネルギー関連

- **ルーマニアの石炭生産量 2024 年 1 月は 8.7%減、輸入量は 48%減、2 月は生産量 5.6%減、輸入量 2.2%減**

- 4月1日、ルーマニア国家統計局は、2024年1月の純石炭生産量は石油換算で16.56万トンとなり、前年同月比8.7%減少し、同月の石炭輸入量は6,400トンで、前年同月比48%減少した旨発表した。
- 4月25日、ルーマニア国家統計局は、2024年2月の純石炭生産量は石油換算で34.46万トンとなり、前年同月比5.6%減少し、同月の石炭輸入量は2.27万トンで、前年同月比2.2%減少した旨発表した。
- ルーマニア国家経済戦略・予測委員会は、最新のエネルギー収支予測の中で、2026年までには、他のエネルギー生産施設の稼働に伴い、石炭の生産と輸入が、2024年には生産：前年比6.7%、輸入：前年比6.7%、2025年には生産：8.6%、輸入：4.5%、2026年には生産：10.2%、輸入：2.5%、それぞれ減少する旨予測している。

- **ドイチェシュティ原発用地の選定プロセスは国際原子力機関（IAEA）の安全保障基準に準拠**

- 4月9日、ヌクレアエレクトリカ社は、ルーマニア初の小型モジュール式原子炉（SMR）発電所を安全に開発するためのドイチェシュティの用地選定プロセスが、IAEAが推奨するアプローチに準拠している旨発表した。

- **電力のストレージ容量の需要は 4,000MW**

- 4月12日、ブルドウジャ・エネルギー相は、2030年までに必要な電力ストレージ容量は4,000MWで、半分をバッテリー、残りの半分を揚水発電により賄い、特に揚水発電はルーマニアが地学的に優位性のある国であり、バッテリーへの投資よりも有用である旨述べた。

- **ルーマニア政府、韓国と原子力協力覚書を締結**

- 4月24日、ルーマニアのエネルギー省は、ヨハニス大統領の韓国訪問（4月22－24日）に合わせ、韓国と原子力分野の二国間協力に関する覚書（MOU）を締結したと発表した。協力内容は原子力機器、安全装置、核燃料、小型モジュール炉（SMR）、放射性廃棄物管理などを含み、ヨハニス大統領とユン・ソンニョル大統領の立ち会いのもと署名された。具体的な案件では、2023年6月に韓国水力原子力（KHNP）が受注したチェルナブオダ原子力発電所での、欧州初となるトリチウム除去施設プロジェクトの成功に向けた支援や、同発電所1号機の改修と原子燃料サプライチェーンでの協力に言及した。また、報道によると、ヨハニス大統領や国営原子力企業ヌクレアエレクトリカ社幹部らはトゥサン重工業のSMR生産施設を訪問した。

- **ルーマニアの SMR プロジェクト、最高レベルの安全性と技術の恩恵を享受**

- 4月25日、ヌクレアエレクトリカ社のギッツァ社長は、韓国のトゥサン重工業を訪問し、同社の生産設備の視察後、ルーマニアのSMRプロジェクトは最高レベルの安全性と技術の恩恵を享受し実現し、2030年代中には最先端の原子力技術と効率的なクリーンエネルギー分野の国際的な模範となる旨述べた。

(4) その他トピックス

- ルーマニア人労働者、バケーションバウチャーに期待

- 4月2日、観光連盟とチケット発行業者協会は、ルーマニア人労働者がバケーションバウチャーを魅力的な給与上乗せ福利厚生として考えており、雇用条件に盛り込むことを期待している一方で、企業側はそのための資源がなかったり、バウチャー導入の方法が不明だったりする旨の市場調査結果を発表した。

- スマートシティ産業アワードでシビウ市長が年間最優秀市長賞を受賞

- 4月5日、第8回スマートシティ産業アワードで、「都市再生、デジタル化、スマートモビリティ、欧州基金へのアクセスの分野における多大な貢献」、「実施されたプロジェクトにおいて、先進技術と持続可能な開発の原則を組み合わせること」が評価され、フドル・シビウ市長が年間最優秀市長賞を受賞した。同市長は、自転車道と憩いの場を備えたチビン川沿いの開発プロジェクトで、「革新的な都市開発とインフラ」部門賞も受賞した。この受賞プロジェクトは、チビン川沿いの約10キロメートルの都市景観を変え、自転車道、歩道、憩いエリア、スマート街灯制御システムなどを整備した。

- ルーマニアとモルドバ共和国、経済分野における共同行動を盛り込んだ覚書に署名

- 4月9日、オペレア経済・起業・観光相は、ルーマニアとモルドバ共和国が、輸送、税関等の経済分野における25項目以上の覚書に署名した旨を発表した。

外政

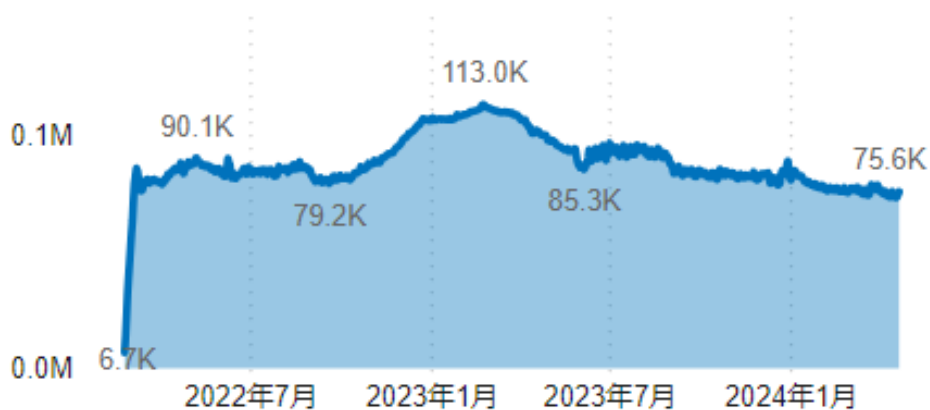
(1) ウクライナ関連

- UNHCR 発表避難民動向データ

- 2022年2月24日以降ウクライナからルーマニアに入国したウクライナ避難民：4,319,930人（4月21日）
- 2022年2月24日以降モルドバからルーマニアに入国したウクライナ避難民：1,647,307人（4月21日）
- 2022年2月24日以降ルーマニアからウクライナに出国したウクライナ避難民：3,694,353人（4月21日）
- ウクライナ人のルーマニア国内滞在者数：75,570人（4月21日）
- 一時的保護の登録人数：161,372人（4月10日）

【ルーマニア国内滞在者数の変遷】

Individual refugees from Ukraine recorded in Romania



（出展：UNHCR “Ukraine Refugee Situation / Romania,” 2024/4/21.）

- ヨハニス大統領、ゼレンスキー・ウクライナ大統領と会談 三海域イニシアティブ

- 4月11日、ヨハニス大統領は、リトアニアの首都ビリニウスで開催された第9回三海域イニシアティブ会合に出席したゼレンスキー・ウクライナ大統領と会談し、ルーマニアはウクライナをあらゆる側面から断固として支援し、地域の連結性、持続可能な国境を越えた協力、エネルギーの安全保障の強化への決意をあらためて表明した。人道支援だけでなく、ウクライナにとって重要である軍事支援にも寄与するための二国間安全保障協定を現在作成中である旨述べた。

- **ティサ川に架かるルーマニアとウクライナの国境を越える橋、11 月に完成へ**

- 4 月 11 日、マラムレシュ県の担当者は、ルーマニア・ウクライナ間を結ぶティサ川に架かる橋梁の建設工事が順調に進んでおり、今年 11 月には完成予定である旨発表した。現在 37%の工事が完成している同プロジェクトは、EU 基金から 4000 万ユーロが拠出されており、完成後には新たな経済的交流が生まれることが期待されている。現在は両岸には歴史的な木造橋があるのみで、人のみの往来が可能となっている。

- **ブカレストでの世界ウクライナ人会議で両首脳が 2 国間の国民の強固な絆を再確認**

- 4 月 12 日、オドベスク外相は、ブカレストで開催された世界ウクライナ人会議に出席し、同会議がルーマニアとウクライナの人々の「強い」絆を再確認するものであり、ルーマニアは、如何なる場合でも、ウクライナを「最も積極的に」支持していることを強調した。

- **セーブ・ザ・チルドレン・ルーマニア、ウクライナ避難民の子ども向け施設をブカレストで開設**

- 4 月 17 日、セーブ・ザ・チルドレン・ルーマニアは、ウクライナ避難民の子どもたちのために、ブカレスト 6 区にある建物に託児施設を開設する旨発表した。同プロジェクトを通じ、子どもたちはルーマニア語の学習や食事の機会を得るだけでなく、子どもたちの母親は子どもを預けることができ、ルーマニアでの就職が促進されることにつながる。

(2) 要人往来

- **ミシェル欧州理事会議長、オルバン・ハンガリー首相、デ・クロー・ベルギー首相、プレンコビッチ・クロアチア首相が来訪**

- 4 月 3 日、ヨハニス大統領は、ルーマニアを訪問したミシェル欧州理事会議長、オルバン・ハンガリー首相、デ・クロー・ベルギー首相、プレンコビッチ・クロアチア首相と会談した。記者会見で、ミシェル欧州理事会議長は、優先事項のひとつが安全保障と防衛である旨強調した。ヨハニス大統領は、ルーマニアは 2024 年から 2029 年にかけての EU の優先事項すべてを推進することに深くコミットしており、ルーマニアはこのプロセスに大きく貢献できる旨述べた。

- **欧州社会党会議にショルツ・ドイツ首相が来訪**

- 4 月 6 日、欧州社会党会議に出席するために来訪したショルツ・ドイツ首相、シュミット欧州委員会委員等は、チョラク首相と会談した。ショルツ首相は、ドイツ社会民主党はルーマニアのシェンゲン圏への加入を常に支持している旨述べるとともに、ルーマニアによるウクライナ支援を歓迎した。チョラク首相は、ドイツによるルーマニアのシェンゲン圏への加入の支援に感謝を示した。両者は、ドイツがルーマニアの最大の貿易相手国であり、ルーマニア経済への第 2 の投資国であることから、二国間の政治対話と経済協力が素晴らしいレベルにあることを高く評価した。

(3) ヨハニス大統領の韓国公式訪問

- 4 月 22～24 日、ヨハニス大統領は韓国を公式訪問し、尹錫悦・韓国大統領との会談において、ルーマニアと韓国の戦略的パートナーシップの強化に関する共同宣言に署名した。
- 韓惠洙・韓国首相と会談し、特にインフラ、エネルギー、防衛などの戦略的分野における韓国の対ルーマニア投資の大幅な増加を奨励した。
- 両国は、防衛（ブカレストとソウルに防衛駐在官事務所を開設）、緊急事態管理協力、防災・安全、文化・メディア・青少年・スポーツ、原子力、貿易・投資に関する二国間協定に署名した。
- ルーマニア政府はソウルにルーマニア文化会館（ICR）を設立するための交渉開始を覚書で承認した。

(4) 防衛・安全保障

- **ロシアの対ウクライナ戦争による損害登録簿へのルーマニアの参加を承認する法律が公布**

- 4 月 3 日、ヨハニス大統領は、昨年ストラスブールで開催された欧州評議会閣僚委員会の決議により設立された、ロシアの対ウクライナ侵略による損害登録に関する拡張部分協定へのルーマニアの参加を承認する法律を公布した。
- この協定には、欧州評議会の他の 35 カ国と EU、カナダ、日本、米国がすでに加盟している。
- 部分的に拡大された協定は、国際条約ではなく、独自の予算と作業方法を持つ協力の一形態である。

- **ルーマニアは防衛産業界の多くのパートナーと協議中**
 - 4月3日、オブレア経済・起業・観光大臣は、5月22日～24日にかけて開催される BSDA（Black Sea Defense & Aerospace）では、ルーマニア経済の大きな可能性と、ルーマニアでの装備品生産を希望する多くのパートナーの意向が示されることとなり、EU は防衛産業の共通基盤の開発について話し合っている旨述べた。
- **ルーマニア海軍、多国間演習「Sea Shield 24」を実施**
 - 4月8～21日、ルーマニア海軍は、ブルガリア、フランス、ジョージア、ギリシャ、イタリア、英国、モルドバ、オランダ、ポーランド、ポルトガル、トルコ、米国など、12 の NATO 加盟国およびパートナー国が参加する多国間演習「Sea Shield 24」を実施した。
 - 演習には 2,200 人以上の人員、27 隻の艦船、17 機の航空機及び 91 両の車両が、黒海、沿岸地域、河川及びドナウ川において、海上及び河川における違法行為、海上及び河川の管理、海上における捜索及び救助と闘う任務のための訓練を実施した。
- **英国空軍、5 度目の NATO 南東における領空警備任務（ルーマニア拠点）を開始**
 - 4月9日、英国空軍は、NATO の南東における領空警備任務（コンスタンツァの第 57 空軍基地が拠点）をトルコ空軍から引き継いだ。英国にとって、2017 年、2018 年、2021 年、2022 年に次ぐ 5 回目の任務となる。
 - イギリス分遣隊は 220 人の兵士、パイロット、技術要員、6 機のユーロファイター・タイフーン戦闘機から構成される。
- **F-16 戦闘機 3 機がクンピア・トゥルジーに到着、ノルウェーから購入**
 - 4月19日、ルーマニアがノルウェーから購入した F-16 戦闘機 3 機がクンピア・トゥルジーの第 71 空軍基地に着陸した。同機は今後、第 48 戦闘飛行隊で使用される予定。
 - これは、ルーマニアがノルウェーから購入した F-16 戦闘機 3 機とそれに関連する物品・サービスのパッケージの第 2 弾であり、第 1 弾は 2023 年 11 月末にカララシの第 86 空軍基地で受領された。

我が国との関係

(1) 外交関係

● 日本、三海域イニシアティブ（3SI）の戦略的パートナーとして参加

- 4月11～12日、上川大臣は、リトアニアのビリニウスで開催された第9回三海域イニシアティブのスノウ会合にビデオ・メッセージを発出し、日本が今時より戦略的パートナーとして参加できることを嬉しく思うとともに、欧州・大西洋の安全保障とインド太平洋の安全保障は不可分であるとの認識の下、日本は、3SIを強く支持する旨述べた。
- ヨハニス大統領はX及び報道声明において日本の戦略的パートナー入りを歓迎。

● 片江大使、トゥルカン文化相を表敬訪問

- 4月2日、片江大使は、トゥルカン文化相を表敬訪問し、シビウ国際演劇祭やトランシルバニア国際映画祭など各種文化イベント等を通じ、今後も文化分野における日ルーマニア間の協力関係を強化することを確認するとともに、建物を含む文化財の維持や修復における専門家連携、文化を通じた自治体間交流や市民交流の促進について意見交換した。

● 片江大使、上下両院外交委員長を表敬訪問

- 片江大使は、ビロ下院外交委員長（4月15日）、コルラツェアン上院外交委員長（4月25日）をそれぞれ表敬訪問し、昨年署名された両国の戦略的パートナーシップに関して経済関係強化、安全保障問題に対する強調の他、議会関係、人的交流、文化交流の重要性を強調した。



- **片江大使、コンスタンツァ港を視察**

- 4月22日片江大使は、コンスタンツァ港を訪問し、2000年代に円借款により整備されたコンテナターミナルの活用状況について、説明を受け、その稼働状況について視察した。日本が整備を支援した同港は、欧州～アジアを結ぶ物流の重要拠点として、近年ますます重要性を高めている。



- **片江大使、極限レーザー核物理研究所（ELI-NP）を視察**

- 4月26日、片江大使は、極限レーザー核物理研究所（ELI-NP）を視察した。同研究所は昨年3月に岸田総理とヨハニス・ルーマニア大統領の間で署名された「戦略的パートナーシップ（SP）」共同声明にも言及されており、同研究所の極限レーザープロジェクトは日ルーマニア両国の科学技術研究分野での協力を象徴するプロジェクトである。



（2）広報・文化関係

- **第5回花見の開催**

- 4月13日、ヘラストラウ公園内日本庭園にて第5回目となる「花見」を開催した。開会式では片江大使、フラシネアヌ首相官邸参事官、フリスティア外務次官が歓迎や祝賀の挨拶をし、新たな桜の木の植樹式が行われた。ステージでの和太鼓、空手、日本舞踊、剣道などの力強いパフォーマンスは来場者を魅了し、庭園内では、茶道（野点）、浴衣着付け体験、折り紙、和太鼓、書道、剣道、弓道、空手、日本酒、団扇絵馬、漢字、豆つかみのワークショップなど様々な日本の伝統文化を楽しんだ。



- **コミコンの開催**

- 4月19～21日、在ルーマニア日本国大使館は、East European Comic Con（通称：コミコン）に出展した。当館のブースでは、日本ご当地キャラクター協会の協力で、楽しく日本各地のキャラクターや地域の特徴・名物を学べるゲームを実施した。また、島根県・島根県観光連盟の協力の下、島根県キャラクター「しまねっこ」と島根名所と一緒に写真を撮れるデジタルフォト企画を行った。



- 会場には「ジャパンエリア」が設置され、日本関連事業者や団体による出展が行われたほか、会場各所で日本の漫画・アニメ・ゲームなどを紹介するブースがあり、5 万人以上の来場者が新旧様々な日本文化を楽しんだ。



(3) その他

- 4 月 3～6 日、田中高山市長他がシビウ市を訪問。フォドル・シビウ市長、シビウ市議会議員、キリアック・ラドゥ・スタンカ国立劇場監督（シビウ国際演劇祭総監督）、高山市来訪ボランティア参加者他と懇談。2022 年に姉妹都市交流 10 周年を迎えた高山市とシビウ市との更なる交流の促進・深化につき話し合った。